

## 「神の大きな恵み」 エペソ 2：8

### I 三位一体の神の大きな恵み。父と子と聖霊は神であり、一体のお方。

1. 父なる神の恵み。私達の救いのご計画者。「私たちの主イエス・キリストの父なる神がほめたたえられますように。神はキリストにあって、天にあるすべての祝福をもって私達を祝福してくださいました。すなわち、神は私達を世界の基の置かれる前から彼にあって選び、御前で聖く、傷のない者にしようとされました。神は、みむねとみこころのままに、私達をイエス・キリストによってご自分の子にしようと、愛をもってあらかじめ定めておられました」 1：3－5
2. 子なる神、キリストの恵み。私達の救いの成就者。「やぎと子牛との血によってではなく、ご自分の血によって、ただ一度、まことの聖所に入り、永遠の贖いを成し遂げられたのです」ヘブル9：12。「キリストも一度罪（私達の罪）のために死なれました。正しい方（罪のないキリスト）が悪い人々（私達）の身代わりとなったのです」

#### I ペテロ 3：18

3. 聖霊なる神の恵み。父なる神が計画され、御子なる神が十字架と復活で成し遂げられた私達の為の救いを、私達の心に教え、主の十字架の死が、私達自身の罪の為と理解させ、主を救い主、主、神と信じる信仰と告白を与えるお方。この聖霊なる神の働きなしに、誰も、自分の罪と主を認める事は出来ない。

「その方（聖霊なる神）が来ると、罪について、義について、さばきについて、世にその誤りを認めさせます」ヨハネ16：8。「聖霊によるのでなければ、だれも、『イエスは主です』という事はできません」Iコリント12：3。「もしあなたが口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです」ローマ10：9

「あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です」エペソ2：8

### II 偉大な神のご支配、時、恵み

1. 「天の下では、何事にも定まった時期があり、すべての営みには時がある。生まれるのに時があり、死ぬのに時がある…神のなさることは、すべての時にかなって美しい」伝道者の書3：1, 2, 11。主の教会に行くのに神の時があり、主を信じるのに神の時があり、洗礼を受けるのに神の時がある。人々の救いの為に祈り続けたい。
2. 「あなたがたの会った試練はみな人の知らないものではありません。神は真実な方ですから、あなたがたを、耐えられないほどの試練に合わせることはなさいませぬ。むしろ、耐えられるように、試練とともに脱出の道も備えてくださいます」

#### I コリント 10：13

「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです」ヨハネ14：6

「強くあれ。雄々しくあれ。…主ご自身があなたの先を進まれる。主があなたとともにおられる。

主はあなたを見放さず、あなたを見捨てない。恐れてはならない。おののいてはならない」申命記 31 : 7, 8

3. 「神はこれを、御霊によって私たちに啓示されたのです。御霊はすべてのことを探り、神の深みにまで及べれます。…私たちは、この世の霊を受けたのではなく、神の御霊を受けました。それは、恵みによって神から私たちに賜ったものを、私たちが知るためです」 I コリント 2 : 10 – 12。私達が、神が、私達に下さった素晴らしい救い主と聖書の御言葉を理解し、心で知り続けることが出来るのは、神が、私達の心に与えられた聖霊なる神の教えのおかげ。感謝！御聖霊の働きがなければ、主のこと、御言葉のメッセージも、心で深く理解する事は出来ない。

4. 励ましの御言葉。洗礼はゴールではなく、スタート。主は、私達が、つらい時、いつも共におられ、支え、励まされる。

「恐れるな。わたしはあなたとともにいる。たじろぐな。わたしがあなたの神だから。わたしはあなたを強め、あなたを助け、わたしの義の右の手で、あなたを守る」

イザヤ 41 : 10

### III 神の驚くべき恵みへの応答

1. 「みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりやりなさい。」

II テモテ 4 : 2

「聞いたことのない方を、どうして信じることができるでしょう。宣べ伝える人がいなくて、どうして聞くことができるでしょう」ローマ 10 : 14

「あなたのパンを水の上に投げよ。ずっと後になって、あなたはそれを見いだそう」

伝道者の書 11 : 1

2. 「彼らは使徒たちの教えを堅く守り、交わりをし、パンを裂き、祈りをしていた」

使徒 2 : 43

私達も、主の御言葉を読み味わい、御聖霊の助けで堅く守り、神と交わり、主を間において互いに交わり、御言葉の恵みと祈りの課題を分かち合い、礼拝、聖餐式を大切にし、全知全能の神に、心を合わせて、祈り合いたい。